

深川市パブリックコメントによる意見募集の結果公表

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について次のとおり公表します。

【意見募集の集計結果】

1	政策等の名称	深川市新庁舎建設基本計画		
2	意見募集期間	令和元年10月17日～令和元年11月15日		
3	意見の件数(提出者数)	9件(4人)		
4	意見の取扱い (対応内容の分類)	分類	分類内容	件数
		修正	案を修正するもの	0件
		既記載	既に案に盛り込んでいるもの	1件
		参考	今後の参考とするもの	6件
		その他	意見として伺ったもの	2件
5	意見の受け取り方法	持参		2人
		郵便		0人
		ファクシミリ		1人
		電子メール		1人

【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

No.	意見等の概要	件数	意見の取扱い 分類	意見等に対する市の考え方
1	<p>生きがい文化センター内にある市立図書館は、深川駅や市立病院から遠く、車を持たない市民や高齢の方には不便な場所にあり、さらに施設修繕が必要な箇所もある。</p> <p>新庁舎の基本方針の一つにある「市民に親しまれ利用しやすい庁舎」の実現や図書館の各種課題を解決するためにも、新庁舎に市立図書館を移設してもらいたい。</p>	1	その他	<p>新庁舎と既存公共施設の複合化については、現庁舎の周辺にある総合福祉センターと健康福祉センター「デ・アイ」について、市民による庁舎整備検討会議等で議論をいただくなどして検討を行ったところです。</p> <p>その結果、両施設とも耐震性が確保され耐用年数までに一定の期間があることのほか、新庁舎と複合化した場合、施設の規模や事業費の大幅な増加を招くことなどから、新庁舎との複合化は行わないことになりました。</p> <p>ご意見をいただいた市立図書館についても同様に、耐震性が保たれ耐用年数を迎えるまでには一定の期間があり、新庁舎に移設した場合は規模の拡大や事業費の大幅な増加等を招くことから、新庁舎への市立図書館の移設は行わない考えでありますので、ご理解をお願いいたします。</p>

2	<p>人口や職員数、議員数は現庁舎建設当時より大幅に減少している状況にあり、以前東庁舎に入っていた消防が移転するなど庁舎内には空きスペースが多くみられる。</p> <p>また、近年建設した公共施設は規模拡大により業務や維持管理に影響が出ているとの話も聞いている。</p> <p>新庁舎は国の基準等から約6,200 m²を基準にするとされているが、こうした状況を踏まえるとともに、大人数が集まる会議や行事は民間施設等を有効活用するなどして、新庁舎の面積の縮減に向けて検討していただきたい。</p>	1	参考	<p>新庁舎の規模については、基本計画において、現庁舎の面積と国の基準により算定した面積の平均(約6200 m²)を延べ床面積の基準として、その範囲で極力機能的でコンパクトな庁舎の整備を目指すこととしております。</p> <p>このことから、新庁舎の建設にあたっては、現庁舎が抱える課題解決をはじめ、多様化する行政需要に対応する機能やスペースを備える一方で、健全な財政運営の観点からご意見のとおり華美にわたらない必要最小限の規模となるよう、設計段階で検討してまいります。</p>
3	<p>新庁舎に整備する防災拠点機能については、あまり過大な設備とならないように配慮願いたい。</p>	1	参考	<p>新庁舎建設にあたっては、災害対応の拠点機能を強化することを念頭に、高い耐震性能を有する構造とするほか、災害対策本部機能をはじめ災害対策に係るスペースや非常用自家発電設備などの整備を予定しております。</p> <p>その整備にあたっては、必要な設備や機能を備える一方で、ご意見のとおり過大な設備投資とならないよう、設計段階で検討してまいります。</p>
4	<p>将来的な維持管理を考慮して、事務室にエアコンは不要で、暖房も個別ストーブで充分と考える。</p>	1	参考	<p>新庁舎の冷暖房設備については、基本計画において、省エネルギー効果の高い設備の導入を検討することとしております。</p> <p>いただいたご意見を参考にしつつ、整備費や維持管理経費等を総合的に検証し、できる限り財政負担の軽減を図るとともに、来庁者の快適性の確保や効率的な業務遂行が可能となる設備の導入を設計段階で検討してまいります。</p>
5	<p>フリーWi-Fiの設置を望む。</p>	1	参考	<p>Wi-Fiを含む新庁舎における情報通信機器の設置や情報システムの構築等については、様々な行政需要に対応できるよう最善な手法を検討しているところであり、いただいたご意見も参考にさせていただきます。</p>

6	新庁舎でのあかとき食堂の継続営業を望む。	1	参考	新庁舎への食堂設置については、今後必要性を検証し事業者の意見も伺うなどして、設計段階で検討してまいります。
7	市民の憩いの場として、フリースペースの設置を望む。	1	既記載	新庁舎については、市民が自由に休憩や待ち合わせなどに利用できる多目的スペースの設置を検討しております。
8	併合施設として障がい者地域活動支援センターの建物が老朽化しており、トイレ等が狭い状況にある。さらには足の不自由な利用者には階段の昇降が大変なことから早急なエレベーター設置(バリアフリー化)を望む。	1	その他	ご意見をいただいた施設(ふれあいセンター)と、新庁舎との複合化については、規模の拡大や事業費の大幅な増加等を招くことから、行わない考えでありますのでご理解をお願いいたします。 また、既存施設の改修については、貴重なご意見として受け止めさせていただき、関係所管等へお伝えいたします。 なお、新庁舎については、エレベーターや多機能トイレ等を設置するなどバリアフリー化を進める予定をしており、人と環境に優しい庁舎づくりを目指して整備を進めてまいります。
9	「“新・市役所”という市民イメージにおける新時代(令和など)対応型の〈あたらしい自治体(公)のカタチ〉を市民一人ひとりに発信していく拠点としての実験的な試み《多目的防災予防対策型新自由空間》の新庁舎内設置案に関する私的提案」 〈主なコンセプト(発想・観点)〉 ①防災見本市の意味 ②外国人への長期的・将来的な対応としての“コミュニケーター”の意味 ③空き家対策をはじめとする広義の「終活」への支援・提案の場として。 ④生活破綻とホームレス対策の試験的対応。 ⑤新しい“補完的経済圏構想”の確立。 ⑥自治体消滅(3・11)と市庁舎損壊(熊本地震)等に象徴・暗示される、不可抗力的な自治体危機の起死回生と予防策の検証と実演場の提案・提供。 ⑦広くインフラ・ゴミ・環境テーマへのシミュレーターとしての役割。等 ◎上記項目等の昨今解消急務の社会問題が、この一つの空間から解決の糸口を見出せる可能性を目指す。 ◎「防災(広義の危機管理)」の発想自体はマイナスイメージですが、発想を多角度から眺めていくと、プラス効果の糸口が多々出てくると思う。	1	参考	新庁舎は、災害対応の拠点機能を強化することを念頭に、現庁舎が抱える課題解決をはじめ、市民の利便性や快適性の向上、効率的な行政運営などを図ることを目指しており、貴重なご意見の一つとして受け止めさせていただき、庁舎整備に努めてまいります。